

日本鉄道OB会連合会 各地区で署名活動

「新幹線の生みの親」と称された元国鉄総裁・十河信二と妻・キクを主人公としたNHK朝の連続テレビ小説（朝ドラ）放映実現に向けた誘致・要望活動が、愛媛県、同県西条市、新居浜市をはじめ、日本鉄道OB会連合会傘下の北海道、東日本、東海、西日本、四国、九州の各地区の鉄道OB会で精力的に行われている。OB会連合会では会員にさらなる署名活動への協力を呼び掛けている。

7カ月で1万7000筆

昨年5月に
誘致推進協

2024年の東海道
新幹線開業60周年を踏

まえ、十河信二と同じ

誕生日（4月14日）の

元国鉄職員、JR四国

松山駅長、高松駅長を

務め、現在、四国鉄道

OB会香川支部会員の

加藤圭哉さんが発起人

となった「十河信二と

妻キクを主人公とした

NHK朝ドラ誘致推進

協議会」が昨年5月20

日に設立された。

同協議会では、関係

者間の連携の上で誘致

・要望活動を展開して、

朝ドラ放映決定を実現

させることで、両市民

の郷土に対する愛着や
市外での認知度・イメ
ージの向上、新たな観
光誘客を含めた地域活
性化につなげていく。

同様の動きとして

は、18年に「朝ドラ

に牧野富太郎を」の

会」を立ち上げ、約4

万人分の署名を集めて

NHKにドラマ化を実

現、昨年4月から放映

された高知県出身の植

物学者・牧野富太郎を

モデルにした「らんま

ん」の例がある。

加藤さんは、十河信

二の国鉄総裁就任時の

年齢と協議会発足時の

自身の年齢が同じ71歳

について、「何か縁

（えにし）を感じる。

信二さんの生き方と波

瀾（はらん）万丈の人

生を支えたキクさんの

魅力を知っていたら

ためにも力をお貸し願

いたい」などと語った

という。加藤さんは現

在、JR予讃線伊予西

条駅隣の四国鉄道文化

館や十河信二記念館の
館長も務めている。
ドラマの主人公の一
人、十河信二は188

4年、新居郡中村（現

在の新居浜市中萩地

区）の生まれ。東京帝

国大学（東京大学）卒

業後に鉄道院に入り、

南満州鉄道理事などを

歴任した後、西条市長

などを経て71歳で第4

代国鉄総裁に就任。そ
の後、日本初の高速鉄
道となった東海道新幹
線の開業に尽力した。
西条市にある十河信二
記念館では各種展示物
を通じて氏の功績を顕
彰する。

推進協議会が公表し
ている提案書による

と、ドラマでは信二の

鉄道との関わり、キク

を含めた波瀾万丈、夫

婦で支え合った愛情に

満ちた人生を、二人そ

れぞれに関わる登場人

物と合わせてストーリー

化していくという。

地元は四国鉄道OB

会では、全国各地での

誘致・要望活動に取り

組む推進協議会の動き

に早くから賛同。今年

2月以降、日本鉄道OB

B会連合会の協力を得

て、全国各地のOB

会員に協力を呼び掛け

る形で署名活動に取り

組んでいる。

地元が早い反応

西条市でシンポ

署名方法は

紙または電子

西条市のホームペー
ジによると、9月30日
時点で10万4111筆
の署名が寄せられ、こ
のうち鉄道OB会員は
1万7102筆に上った。

同日、同連合会を代
表して、四国鉄道OB
会の矢田栄一会長が西
条市経営戦略部シティ
プロモーション推進課
の西村友規課長に署名
簿を手渡した。同連合
会では今後も、ドラマ
放映実現に向けた署名
活動への協力をOB会
員をはじめ現役鉄道マ
ンにも求めていく。

推進協議会では、昨
年9月にNHK放送セ
ンター（東京・渋谷）
を訪れて要望書を提
出。今年7月には西条
市内でシンポジウム

「十河信二と妻キクの
愛情物語」を開催し、
実現に向けた機運を盛
り上げている。

署名方法は
紙または電子

署名・要望活動など
に関する問い合わせ
は、各地区の鉄道OB
会、または西条市、新
居浜市へ。署名方法は
電子、紙から選べる。

署名方法は
紙または電子

署名・要望活動など
に関する問い合わせ
は、各地区の鉄道OB
会、または西条市、新
居浜市へ。署名方法は
電子、紙から選べる。

署名方法は
紙または電子

署名・要望活動など
に関する問い合わせ
は、各地区の鉄道OB
会、または西条市、新
居浜市へ。署名方法は
電子、紙から選べる。

署名方法は
紙または電子

署名・要望活動など
に関する問い合わせ
は、各地区の鉄道OB
会、または西条市、新
居浜市へ。署名方法は
電子、紙から選べる。

署名方法は
紙または電子